

「こんにちは赤ちゃん」

鳥取・小中学生がふれあい会

抱っこや運動通し交流

笑顔いっぱい。鳥取市西品治の市立富桑隣保館は、乳幼児やそのお母さんと小中学生が交流する「ふれあい会」を開いた。最初は緊張気味の参加者たちも、赤ちゃんの無邪気なしぐさや笑顔で次第に打ち解け、会場いっぱいには笑顔が広がった。

夏休みの特別企画として初めて開催し、市内の子育てサポートすくすくクラブが協力した。赤ちゃんの温かみを肌で感じ、親の思いを知ることによって自分の成長にかかわった人々たちへの思いを振り返ってもらおうと企画した。近くの小中学生九人と四一十九月の乳児と

そのお母さん十五組が参加。自己紹介しながら、手足の運動や抱っこをするなどして交流を深めた。

友だちに誘われて参加したという酒井香澄

さん(三)＝鳥取北中二年＝は「普段できないことなので楽しい」と、赤ちゃんを一生懸命あやしていた。

横河和子さん(二)は生後十九月の太陽ちゃんと参加。「県外から来たので知り合いも少なく、地域との接点ができうれしい。子どもにもいい刺激」と話していた。



乳児とふれあう子どもたち